

積算協会のPCM (Project Cost Management) シリーズⅡ

新☆建築積算士 ガイドブック

新しい時代に向けて内容を一新
この本一冊で理解できる
建築積算のガイドブック決定版！

コストがわかれば 建築が見える！

 公益社団法人日本建築積算協会
The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

Contents

はじめに

新☆建築積算士ガイドブック改訂にあたって 建築積算士について

1	建築積算とは	2
1.1	建築積算の定義	2
1.2	建築積算の目的	3
1.3	建築積算の役割	4
1.4	建築積算の活動領域	4
1.5	建築積算技術者の倫理観	5
2	建設産業について	10
2.1	建設産業の特徴	10
2.2	建設産業の変遷と現状	12
2.3	建築生産プロセスとコストマネジメント	15
3	工事の発注・契約	22
3.1	設計者と施工者の選定方式	22
3.2	多様な発注方式	26
3.3	価格契約方式	30
3.4	担い手3法とスライド条項	33
4	設計図書	38
4.1	設計図書の構成	38
4.2	設計図書の優先順位	42
5	工事費の構成	44
5.1	工事費種目	44
5.2	工事費の構成比率	49
5.3	単価の種類	50
5.4	仮設工事の単価	53
6	建築積算業務の実際	56
6.1	建築積算業務の流れ	56
6.2	土工	57
6.3	地業	65
6.4	躯体（コンクリート・型枠・鉄筋）	67
6.5	鉄骨	92

6.6	木造	124	1
6.7	仕上	153	2
6.8	外部仕上	157	3
6.9	内部仕上	170	4
6.10	開口部	182	5
6.11	間仕切下地	185	6
6.12	内外装仕上の工種ごとの解説	186	7
6.13	仮設	193	8
6.14	屋外施設など	202	9
6.15	設備	210	10
6.16	内訳書の作成	218	11
6.17	値入業務	222	12
6.18	概算	235	13
			14
7	建築数量積算基準	244	15
7.1	積算基準の目的	244	16
7.2	積算基準の構成	245	17
7.3	積算基準で決めていること	247	18
			19
			20
8	内訳書標準書式	254	21
8.1	内訳書とは	254	22
8.2	工種別内訳書標準書式	255	23
8.3	改修内訳書標準書式	258	24
8.4	部分別内訳書標準書式	260	25
8.5	内訳書作成上の留意点	262	26
			27
9	市場価格	264	28
9.1	相場観の必要性（コストとプライス）	264	29
9.2	価格情報の収集方法と分析	265	30
			31
10	チェックおよびデータ分析	272	32
10.1	建築積算におけるチェック	272	33
10.2	歩掛りの活用	290	34
10.3	データの整理と分析	293	35
10.4	設備工事の積算チェック	302	36
			37
11	建築積算と施工技術	306	38
11.1	近代建築における構造の変遷	306	39
11.2	構法と工法	308	40
11.3	標準的な施工プロセス	311	41
11.4	特殊構法・新技術	331	42

1	12	LCC (ライフサイクルコスト)	342
2		12.1 LCC とは	342
3		12.2 LCC を分析するメリットの高い対象物	343
4		12.3 建築分野への LCC の応用	343
5		12.4 建築分野における LCC の目的	344
6		12.5 建築物における LCC の考え方	345
7		12.6 LCC 手法の活用	345
8		12.7 建築分野における LCC の活用の課題	347
9			
10	13	VE (バリューエンジニアリング)	350
11		13.1 VE の生い立ち	350
12		13.2 VE の定義	351
13		13.3 VE の手法	351
14		13.4 建設プロジェクトにおける VE	354
15			
16			
17	14	建築積算における ICT と BIM	360
18		14.1 ICT による生産性向上	360
19		14.2 BIM とは	360
20		14.3 BIM の基本キーワード	362
21		14.4 建築積算での BIM 活用	364
22			
23	15	改修工事	368
24		15.1 はじめに	368
25		15.2 改修工事の要因について	369
26		15.3 改修工事のコスト面での特徴	372
27		15.4 改修工事の事例 1	373
28		15.5 改修工事の事例 2	378
29		15.6 改修工事の事例 3	381
30		15.7 改修工事の事例 4	383
31		15.8 まとめ	385
32			
33			
34	16	解体工事	388
35		16.1 はじめに	388
36		16.2 解体工事の手順	388
37		16.3 解体工事の種類	389
38		16.4 建設副産物 (建設発生材)	392
39		16.5 まとめ	393
40			
41	17	環境計画とコスト管理	396
42		17.1 環境を取り巻く動向	396

17.2 環境関連法など	398	1
17.3 建築物における総合環境性能評価	400	2
17.4 環境配慮計画	403	3
17.5 環境関連の各種事業や評価手法	408	4
17.6 環境計画とコスト管理のまとめ	410	5

<巻末資料>

建築数量積算基準	414	8
建築工事内訳書標準書式	449	9
監修・査読委員会・執筆者一覧	473	10
参考文献	475	11

※本ガイドブックに記載されている各種事例および参考数値は、読者の皆様が具体的なイメージをご理解いただけることを目的としたサンプルです。このまま実務に使用していただけるものではありません。